

基盤的情報論技術を用いた SCRUM-Japan GI/MONSTAR-SCREEN 関連研究の統合解析

1. 研究の対象

以下の SCRUM -Japan GI/MONSTAR-SCREEN 関連研究に参加された方が対象です。

- 1) 進行再発大腸がんにおけるがん関連遺伝子異常のプロファイリングの多施設共同研究（SCRUM-Japan GI-screen 2013-01-CRC：UMIN000016343）
- 2) 大腸がん以外の消化器・腹部悪性腫瘍におけるがん関連遺伝子異常のプロファイリングの多施設共同研究（SCRUM-Japan GI-screen 2015-01-Non CRC：UMIN000016344）
- 3) 治癒切除不能な固形悪性腫瘍における血液循環腫瘍 DNA のがん関連遺伝子異常及び腸内細菌叢のプロファイリング・モニタリングの多施設共同研究（SCRUM-Japan MONSTAR-SCREEN：UMIN000036749）

2. 研究目的・方法

[研究の目的]

悪性腫瘍に対する分子プロファイリングプラットフォームである SCRUM-Japan GI/MONSTAR-SCREEN 関連研究で得られた臨床情報・ゲノム情報等のオミックス情報を、情報技術を用いて統合解析することにより、治療標的・治療抵抗性を含む分子病態を解明し、悪性腫瘍の分子生物学的本態を反映したバイオマーカーを創出することです。

[研究の方法]

悪性腫瘍で検出される遺伝子異常などのバイオマーカーの機能的、臨床的意義を解析するために SCRUM -Japan GI/MONSTAR-SCREEN 関連研究で検出された遺伝子異常等のバイオマーカーについて基盤的情報論技術を用いた解析を行い、臨床的意義の解明と新規治療標的の探索を行います。また、遺伝子異常の情報を、臨床情報と対比・検討することで臨床的意義の解釈を行います。

[研究実施期間]

研究許可日から 2028 年 2 月 29 日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：生年月日、性別、疾患名、遺伝子変異検査結果 等

4. 外部への試料・情報の提供

研究事務局へのデータ提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。

5. 研究組織

研究代表者：国立がん研究センター東病院 医薬品開発推進部門 吉野 孝之

共同研究機関：

施設名	研究責任者	研究機関の長
国立がん研究センター東病院	吉野 孝之	中釜 斉
東京理科大学	秋本 和憲	浜本 隆之

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院

トランスレーショナルリサーチ支援室

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

TEL：04-7133-5110 FAX：04-7135-5106